

事務事業名	社会教育事務事業			事業コード	10050105101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	岡 弘和		
事業対象	坂井市市民全体						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	社会教育法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	生涯学習事業として小規模な事業や、生涯学習全体を補助的に支援する事業です。						
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい知識と教養を身につける機会を広く市民に提供し生活の中により高い文化を創造することを目的として生涯学習講演会、成人大学講座、大学開放講座を開講する。 ・坂井市の生涯学習・スポーツの冊子を作成し、今後の生涯学習・スポーツ事業を展開する上での資料とする。 						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認していきます。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	教育基本計画の実現に向けて、坂井市の生涯学習・スポーツの報告書を作成し、事業の検証をした。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	社会教育行政全般について、社会教育委員の会にて調査および審議をとおして、社会教育の推進を図る。

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	510 千円	510 千円	千円	千円				
		委託費	427 千円	486 千円	千円	千円				
		需用費	29 千円	31 千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	145 千円	265 千円	千円	千円				
	事業費合計	1,111 千円	1,292 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.68 人	4,779 千円	0.63 人	4,479 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.30 人	758 千円	0.33 人	677 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.98 人	5,537 千円	0.96 人	5,156 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,648 千円	6,448 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円				
国県支出金		千円	千円	千円	千円					
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円					
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源	6,648 千円	6,448 千円	千円	千円						
財源合計	6,648 千円	6,448 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	社会教育のまめとめとして冊子の充実を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	成人大学は自主運営を目指していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	冊子の充実を図っていきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
生涯学習・スポーツ報告書作成		回	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	社会教育団体補助事業			事業コード	10050105106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	坂井市PTA連合会、(社)ガールスカウト日本連盟福井県第17・20団、日本ボーイスカウト福井連盟坂井第5、坂井市女性の会、坂井市かるた協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	社会教育団体の活動・運営を支援するとともに、組織の育成を行い、社会教育の推進を図っています。				
	社会教育団体に対し補助金を交付し、活動の支援・指導・育成を行います。				
事業の目的・事業の概要等	○補助及び交付金 2,080千円 ・PTA連合会事業補助金 250千円 ・ガールスカウト育成団体運営補助金 140千円 ・ボーイスカウト育成団体運営補助金 140千円 ・三国海洋少年団育成団体運営補助金 ー千円 ・女性の会運営補助金 1,200千円 ・かるた協会事業補助金 350千円 ※決算見込額を記載しています。				

すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認していきます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,010 千円	2,306 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,010 千円	2,306 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.19 人	1,335 千円	0.59 人	4,194 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.19 人	1,335 千円	0.59 人	4,194 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	3,345 千円	6,500 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
国県支出金			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	3,345 千円	6,500 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	3,345 千円	6,500 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	補助が必要と認める社会教育団体活動について継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	運営が適正と判断される社会教育団体に補助していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	補助対象事業のみ助成します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向け進捗状況を確認していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	目標値	33.3	33.3	33.3	33.3		
		実績値	27.0	81.08	24.3	72.97	73.5	220.72
活動	1人当たり自己負担金	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000		
		実績値	10660	106.6	14,176	141.76	11,111	111.11
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

事務事業名	市民運動推進事業			事業コード	10050115101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	戸田 史生		
事業対象	坂井市民運動推進協議会会員・坂井市民運動に賛同する一般市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。						
	市民運動の優良実践者を表彰するとともに、子どもから大人まで気軽に取り組める花壇作りを推進し、花壇コンクールを行う。						
事業の目的・事業の概要等	○負担金 363千円 ・坂井市民運動推進協議会負担金 168千円 ・あすの福井県を創る協会負担金 195千円						

すぐに行える改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき遂行していきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	福井国体開催の花でのおもてなしに向けた花壇コンクールの実施や、地域の関係団体に活動の推進をお願いした。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画との整合性を取り、坂井市教育振興基本計画の実現に向け取り組みます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費				
コスト	事業費		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	187千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	2千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	363千円	275千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	363千円	464千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.12人	843千円	0.17人	1,209千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.30人	758千円	0.25人	513千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.42人	1,601千円	0.42人	1,722千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,964千円	2,186千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	145千円	千円	千円	千円			
一般財源			1,964千円	2,041千円	千円	千円	千円			
財源合計	1,964千円	2,186千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	坂井市民憲章を広く市民に知らせるため継続して推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	これまでの事業を継続していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成29 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標値	300	達成率	300	達成率	300	達成率	300	達成率
			実績値	90	30	185	61.67	230	76.67	116	38.67
活動	市民運動被表彰者数	人	目標値	15	達成率	15	達成率	15	達成率	15	達成率
			実績値	11	73.33	11	73.33	11	73.33	12	80
活動	花壇コンクール参加団体数	団体	目標値	65	達成率	65	達成率	65	達成率	65	達成率
			実績値	54	83.08	48	73.85	55	84.62	53	81.54
活動	花の種配布地区団体数	団体	目標値	170	達成率	180	達成率	170	達成率	200	達成率
			実績値	127	74.71	102	56.67	128	75.29	133	66.5
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	公民館維持管理事業			事業コード	10050200101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	戸田 史生
事業対象	地域及び一般市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	有	坂井市公民館条例			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の適正な維持管理と運営の充実を図る。				
	全館に関わる報酬や賃金のほか、統一的去る委託業務や修繕は本庁において実施し、各館ではその他の維持管理を行う。				
事業の目的・事業の概要等	◆本庁事業費 ○報酬等 47,330千円（公民館長報酬、手当、共済費） ○賃金 101,546千円（臨時職員賃金） ○需用費 22,797千円 ○役務費 3,327千円 ○委託料託料 1,427千円 ○使用料及び賃借料 8,368千円 ○工事請負費 6,499千円 ○備品購入費 2,878千円（施設用備品購入費） ○負担金 702千円				
	◆各公民館事業費 市内26（本館23、分館3）公民館維持管理費 ○需用費、委託料他 74,075千円				

すぐのできる改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、推進します。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	地域づくりの拠点施設として、公民館からコミュニティセンターへの移行について検討した。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画と坂井市教育振興計画との整合性を取りながら推進します。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	コミュニティセンター移行後についても、従来の公民館が行っていた社会教育事業が継続して実施出来るよう、社会教育の推進体制を構築するとともに、老化に伴う計画的な修繕を進める。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	41,153	千円	41,400	千円				
		委託費	33,687	千円	32,899	千円				
		需用費	52,395	千円	62,014	千円				
		役務費	4,740	千円	5,143	千円				
		その他	12,270	千円	20,308	千円				
	事業費合計	144,244	千円	161,764	千円					
	人件費	正職員	1.12	人	7,871	千円	1.27	人	9,028	千円
	臨時職員	0.00	人		千円	0.00	人		千円	
	人件費合計	1.12	人	7,871	千円	1.27	人	9,028	千円	
総事業費		152,115	千円	170,792	千円					
事業費	特定財源	国県支出金	216	千円	216	千円				
	使用料・手数料	9,862	千円	9,686	千円					
	分担金・負担金		千円		千円					
	地方債		千円		千円					
	その他	1,520	千円	1,900	千円					
	一般財源	140,517	千円	158,990	千円					
財源合計	152,115	千円	170,792	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域の交流施設としてこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐのできる改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき実施していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画と坂井市教育振興基本計画との整合性を取りながら推進します。			
目標年度 平成27 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
			目標値	415000	達成率	410000	達成率	400000	達成率	394000	達成率
	公民館年間利用者数	人	実績値	419660	101.12	416304	101.54	400176	100.04	387953	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	公民館運営事業			事業コード	10050205101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	新家 秀一
事業対象	地域住民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	無	坂井市公民館条例			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域の特色や素材を生かした学びの中から、交流や情報交換できる生涯学習の場を作り、地域の活性化を図る。				
	公民館講座の開設や公民館まつりの開催を行う。				
事業の目的・事業の概要等	◆本庁事業費 ○報償費（公民館職員研修講師謝礼）				
	◆各公民館事業費 市内26（本館23、分館3）公民館運営費 ○報償費 3,189千円 ○需要費 2,409千円 ○役務費 305千円 ○委託料 171千円 ○使用料及び賃借料 216千円				

すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、実施していきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	社会教育事業だけでなく、地域活動の拠点として、公民館からコミュニティセンターへの移行を検討した。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画と坂井市教育振興基本計画の整合性を図り、取り組んでいきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	コミュニティセンター移行後も、従来の公民館が実施してきた社会教育事業が継続できるよう、社会教育推進体制の構築を図る。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	171 千円	220 千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	2,409 千円	2,456 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	305 千円	259 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	3,405 千円	3,375 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	6,290 千円	6,310 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.60 人	4,217 千円	0.93 人	6,611 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.60 人	4,217 千円	0.93 人	6,611 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	10,507 千円	12,921 千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		2,152 千円	2,016 千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	8,355 千円	10,905 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	10,507 千円	12,921 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域の活動の場としてこのまま継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現在の事業を継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき実施していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画と坂井市教育振興基本計画との整合性を取りながら推進します。			
目標年度 平成27 年度				

【所属長評価】

事業の成果	指標名		単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	成果	公民館講座（定期講座・短期）開催件数	件	目標値	150	達成率	150	達成率	150	達成率	150	達成率
				実績値	127	84.67	125	83.33	141	94	158	105.33
	活動	公民館利用団体登録者数	件	目標値	550	達成率	550	達成率	550	達成率	550	達成率
				実績値	570	103.64	544	98.91	510	92.73	494	89.82
	活動	定期講座・短期講座受講者数	件	目標値	10000	達成率	10000	達成率	10000	達成率	10000	達成率
				実績値	6752	67.52	7284	72.84	8204	82.04	9196	91.96
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

事務事業名	公民館施設整備事業			事業コード	10050215101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	一般市民及び利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	有	坂井市公民館条例			
関連計画・マニュアル	有	市総合振興計画、教育振興基本計画、JR春江駅周辺整備基本計画、春江中公民館建替基本計画など			
事業の目的・事業の概要等	地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の整備を図る。				
	老朽化が進み、耐震基準を満たしていない春江中公民館の建替えをおこない、地域住民に利用しやすい、社会教育や生涯学習の拠点づくりを行う事業 H26は設計プロポーザルを実施し、設計業者を選定し、設計業務を行った。 ※H26春江中公民館建替設計業務委託料21,492,000円 また、建築基準法改正前に建設された公民館の耐震診断も行った。				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行える改善提案	建替基本計画に基づき、基本設計・実施設計を行います。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	建替基本計画に基づき、設計者選定プロポーザルを実施し、設計業者を選定し、設計業務を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	設計に基づき、誰もが使いやすい、地域づくりの拠点となる公民館を建設します。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	27年度からの工事着工に向けて、設計業務に取り組みました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	40,973	千円	1,785	千円	千円	千円	千円	
		需用費	8	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	4,329	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	45,310	千円	1,785	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.72	人	5,060	千円	1.15	人	8,175	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.72	人	5,060	千円	1.15	人	8,175	千円
	事業費	総事業費	50,370	千円	9,960	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源	国県支出金	15,962	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		34,408	千円	9,960	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	50,370	千円	9,960	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	公民館からコミュニティセンターへの移行に向けて検討していきます。			
実施主体の方向性	市の関与を拡大します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	公民館からコミュニティセンターへの移行に向けて検討していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	施設の耐震診断結果に基づき施設の整備計画を立案していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現在の事業を推進していきます。			
すぐに行える改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき推進していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市総合計画と坂井市教育振興基本計画との整合性を取りながら推進します。			
目標年度 平成27 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	%	工事進捗率	目標値 0 達成率	0 達成率	50 達成率	50 達成率
		実績値	0	0	50	100
成果	計画	基本計画の策定数	目標値 0 達成率	1 達成率	達成率	達成率
		実績値	0	1	100	
活動	千円	工事請負額	目標値 0 達成率	0 達成率	41000 達成率	60000 達成率
		実績値	0	0	37000	90.24
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	国際交流派遣事業			事業コード	10050400106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国際交流・地域交流の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	渡航業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	国際理解教育の一環として、市内中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイや授業参加を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる人材を育成する。				
	<p>【交流先】 英国 ウェールズ カーディフ市 プラスマウルコンプリヘンシブスクール他1校</p> <p>【参加者】 坂井市内の中学2年生を対象に参加者を募集し、選考により25人の団員を決定する。 （一次選考 作文、二次選考 面接）</p> <p>【引率者】 5人（団長、引率教諭2人、事務局2人）</p> <p>【派遣期間】 3月中の10日間</p> <p>【事前研修】 10回程度（語学研修、全体研修）</p> <p>【参加者負担】 200,000円×25人</p> <p>○報償費（選考委員・研修指導者謝礼他） 145千円 ○旅費（引率者日当） 189千円 ○需用費（研修時の消耗品費、食糧費他） 192千円 ○委託料（渡航業務委託料） 8,082千円 ○使用料及び賃借料（携帯電話使用料、研修施設使用料） 24千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	受益者負担の原則により、参加者負担金の見直しも視野に入れながら決定していきます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	羽田発の直行便が運航され、成田発と比較すると、時間的にも経費的にも抑えられたので、今回は負担金の見直しは実施しなかった。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	英国ウエールズとの交流を通し、更に絆が深められるよう取り組んでいきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	国際交流推進費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	8,495	千円	8,093	千円	千円	千円		
		需用費	190	千円	186	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	337	千円	317	千円	千円	千円		
		事業費合計	9,022	千円	8,596	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.63	人	4,428	千円	0.55	人	3,910	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	千円	
		人件費合計	0.63	人	4,428	千円	0.55	人	3,910	千円
	総事業費	13,450	千円	12,506	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		5,000	千円	千円	千円	千円				
一般財源		8,450	千円	12,506	千円	千円	千円			
財源合計	13,450	千円	12,506	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	青少年の国際交流事業としてこのまま継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおり維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行ける改善提案	事業費の増減により参加者負担金の見直しを行い実施していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	参加者の成長度	%	目標値	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100
成果	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100
活動	参加者数	人	目標値	25	達成率	25	達成率
			実績値	25	100	25	100
活動	事前研修の実施回数	回	目標値	14	達成率	14	達成率
			実績値	14	100	14	100
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

事務事業名	国際交流招聘事業			事業コード	10050400111
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子
事業対象	坂井市内在住の中学生およびその家庭				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	国際社会を生きる児童・生徒の資質向上を目指し、英国の交流先であるカーディフ市の生徒を招へいし、ホームステイや日本の学校生活の体験を通して、相互の生徒の国際的な視野を広める。				
	【期間】	平成26年7月3日(木)～7月10日(木)			
	【招へい者】	英国 生徒24人(男子12人・女子12人) 引率者5人 (プラスマウルコンプリヘンシブスクールおよびカントニアンハイスクール)			
【交流の内容】	ホームステイ・坂井市内の中学校での交流会と授業参加				

すぐに行ける改善提案	招へい事業が隔年での実施となっているので、派遣事業との相互交流の効果を高めるために、毎年実施の方向で交流先と相談したいと考えています。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	現時点での招へい事業への希望者が毎年増加傾向にあるので、交流先との協議の上で人数の固定化や毎年実施していくことなどを話し合っています。
中長期的に取り組むべき改善提案	訪問時期の変更を考えています。
目標年度 平成32 年度	
取組状況	毎年、英国から青少年を招へいするのは7月で、迎えていただく中学校は大会直前ということもあり、受け入れを希望している生徒も部活動との兼ね合いから、受け入れを断念するという事例が発生しています。より多くの坂井市の中学生のみなさんに異文化交流体験をしていただくため、なるべく負担の少ない時期での事業実施を交流先と受け入れをしていただく中学校と協議していきたいと考えています。

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	国際交流推進費				
【事業のコスト】 コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,190	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	265	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	24	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,479	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.54	人	3,795	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.54	人	3,795	千円	人	千円	人	千円
総事業費	5,274	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他	千円	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	5,274	千円	千円	千円	千円				
財源合計	5,274	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	青少年の国際交流事業としてこのまま実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行ける改善提案	事業内容の見直しを図り経費節減に努めていきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき推進していきます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】 成果	受け入れ家庭の満足度	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
		家庭	目標値	19	達成率	達成率	達成率	24	達成率
	交流会への参加者数	人	実績値	19	100			24	---
		目標値	60	達成率	達成率	達成率	60	達成率	
	受け入れ家庭への説明会の回数	回	実績値	53	88.33			130	---
		目標値	2	達成率	達成率	達成率	2	達成率	
	活動	実績値	2	100			2	100	
		目標値		達成率	達成率	達成率		達成率	
	活動	実績値							
		目標値		達成率	達成率	達成率		達成率	
	活動	実績値							
		目標値		達成率	達成率	達成率		達成率	
活動	実績値								
	目標値		達成率	達成率	達成率		達成率		

事務事業名	子ども会育成事業			事業コード	10050500101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	野澤 祐子		
事業対象	市民（坂井市内の子ども「3歳児から高校3年生」、子ども会育成者・指導者、ジュニアリーダー・シニアリーダー）						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、坂井市子ども会育成連絡協議会会則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	<p>幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を図ることを目的としています。</p> <p>「坂井市子ども会育成連絡協議会」を事業主体として、「坂井地区子ども会育成連絡協議会」や「各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブ」と連携・協力し、子ども会活動の支援や組織の育成を図ります。</p> <p>【坂井市子ども会育成連絡協議会の主な事業】 ・壁新聞コンクール ・ドッジボール大会 ・かるた大会 ・育成者研修会他</p> <p>【各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブの主な事業】 ・ソフトボール大会 ・ジュニアリーダー研修会 ・各単位子ども会活動の支援他</p> <p>○負担金 153千円 ・坂井地区子ども会育成連絡協議負担金 90千円 ・県子連団体会費 64千円 ○補助金 1,984千円 ・坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金</p>						
	事業の目的・事業の概要等						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	子供の指導者であるジュニアリーダーの育成に努めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	坂井市の研修会や、福井県の研修会に多くのジュニアリーダーが参加して、知識・経験を身につけました。それを生かして、各町研修会を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	教育振興基本計画に基づき取り組みました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,138 千円	2,138 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,138 千円	2,138 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.60 人	4,217 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.10 人	253 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.70 人	4,469 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		6,607 千円	2,138 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		6,607 千円	2,138 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		6,607 千円	2,138 千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	地域の子供会活動を支援し故郷を愛する心を育てるため継続していく。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	子供会の指導者となるジュニアリーダーの育成に努めます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	%	子ども会安全会加入率	目標値 62 達成率	62 達成率	62 達成率	62 達成率
		実績値	51.7 83.39	55 88.71	57.9 93.39	57.6 92.42
活動	回	専門部会の開催回数	目標値 4 達成率	4 達成率	4 達成率	4 達成率
		実績値	2 50	2 50	3 75	2 100
活動	人	育成者研修会参加者数	目標値 280 達成率	280 達成率	280 達成率	280 達成率
		実績値	251 89.64	213 76.07	218 77.86	182 65.71
活動	点	壁新聞コンクール出品数	目標値 160 達成率	160 達成率	160 達成率	160 達成率
		実績値	128 80	136 85	143 89.38	119 85
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	成人式事業			事業コード	10050500106		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	辻 佐和子		
事業対象	年度内に20歳を迎える、市民および以前市内に住んでいたことのある人で参加を希望する人						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	新成人の門出を祝福するとともに、参加した新成人一人一人が成人したことを自覚し、これからの社会の中で自主的・協力的に行動するように促す。						
	広報紙・ホームページなどを通じて実行委員を募集し、新成人自らが実行委員となり式典やアトラクション、記念品などの企画・運営を行う。						
【事業の目的・事業の概要等】	○報償費（実行委員謝礼、記念品ほか） 802千円 ○需要費（式典消耗品、食糧費、印刷製本費ほか） 196千円 ○役務費（郵便料、手話通訳派遣料ほか） 131千円 ○使用料及び賃借料（会場使用料） 127千円						

すぐにできる改善提案	現状（実行委員会方式）が妥当と考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	本年も実行委員会方式で行いました。委員会では委員たちが意見を出し合い、準備を重ねた結果、実行委員たちが創る成人式ができました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づいて取り組んでいきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	新成人で構成された実行委員会では、成人式の内容について、委員同士で話し合い、成人式に向けて準備をしています。成人式当日の運営にもたずさわってもらい、実行委員の積極性や自主性を養う場にもなっています。		

【担当】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円			
			需用費	171 千円	140 千円	千円	千円			
			役務費	132 千円	124 千円	千円	千円			
			その他	956 千円	935 千円	千円	千円			
	事業費合計	1,259 千円	1,199 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.81 人	5,693 千円	0.66 人	4,692 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.01 人	25 千円	0.01 人	21 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.82 人	5,718 千円	0.67 人	4,713 千円	人	千円	人	千円
総事業費	6,977 千円	5,912 千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	千円	千円	千円					
	一般財源	6,977 千円	5,912 千円	千円	千円					
財源合計	6,977 千円	5,912 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	成人となる自覚を促す式典として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
すぐにできる改善提案	現状（実行委員会方式）が妥当と考えます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づいて取り組んでいきます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】	成果	式典参加率	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
			目標値	85.0	達成率	85.0	達成率	85.0	達成率
活動	実行委員数	人	目標値	16	達成率	16	達成率	16	達成率
			実績値	13	81.25	16	100	16	100
活動	ホームページ・広報掲載回数	回	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率
			実績値	6	100	6	100	6	100
活動	ボランティア参加者数	人	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値	9	75	9	75	9	75
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	わんぱく少年団事業			事業コード	10050500111		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	福澤 斗夢		
事業対象	坂井市在住の小学5・6年生						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	有	坂井市青少年自然体験活動事業実施要項					
事業の概要	坂井市および県内の自然の中で様々な体験を行うことにより、自立の精神を育み、その上で仲間とコミュニケーションをとりながら協力する大切さを学ぶ。また、坂井市の豊かな自然に触れ合うことによって、ふるさとを大切に作る健やかな心身を育成する。						
	坂井市内の小学校5、6年生30人を対象に募集し、スノーケリングやキャンプ、クロスカントリースキー、トレッキング、ウォークラリー、ディスクゴルフ、木工体験等、自然を通じた活動を年間10回実施した。						
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費（講師謝礼） 40千円 ○需用費（活動用消耗品費、食糧費） 210千円 ○役務費（傷害保険料） 24千円 ○使用料及び賃借料（施設使用料、機材借上料） 83千円 						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	現状が妥当と考えます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	今年度も学校や、家庭ではなかなか体験できないメニューを取り入れた。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	今後も、更に充実した自然体験活動に取組む。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	200 千円	177 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	23 千円	23 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	105 千円	81 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	327 千円	280 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.70 人	4,920 千円	0.51 人	3,626 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.01 人	21 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.70 人	4,920 千円	0.52 人	3,647 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	5,247 千円	3,927 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他	135 千円		128 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源	5,112 千円		3,799 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	5,247 千円	3,927 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	小学生の健全育成事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域のリーダーとして活躍できるよう実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持して実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持して実施していきます。			
すぐに行える改善提案	現状どおり実施していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	参加者の満足度	目標値	100	達成率 100	100	達成率 100	100	達成率 100
		実績値	100	100	100	100	100	100
成果	募集定員（30人）に対する申込者数の割合	目標値	100	達成率 100	100	達成率 100	100	達成率 100
		実績値	93.3	93.3	93.3	93.3	100	100
活動	1回あたりの参加団員数の割合	目標値	90	達成率 90	90	達成率 90	90	達成率 90
		実績値	88.5	98.33	89.3	99.22	88.5	98.33
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

事務事業名	青少年育成坂井市民会議事業			事業コード	10050500116
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	福澤 斗夢
事業対象	青少年市内の青少年及び青少年育成指導者、ボランティア				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、青少年育成坂井市民会議育成事業事務要項			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年育成坂井市民会議を支援します。				
	<p>青少年育成坂井市民会議に対し補助金を交付し、健全な青少年を育成するための事業を実施します。同市民会議は公民館単位の23支部で構成し、総会・理事会において市民会議の活動方針を決定します。同市民会議では、「心の教育講演会」や青少年健全育成推進大会」等を中心とした事業を展開し、市全体の健全育成を推進します。各支部においては、地域の実情に応じた活動を行い地域の青少年の健全育成を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の教育講演会…「地域の子どもは地域が守り育てる」との認識のもと、青少年の健やかな成長を願い、その環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの豊かな心を育むために講演会を開催する。 青少年健全育成推進大会…青少年の健全な育成についての市民意識の高揚を図る。 <p>○青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円</p>				

すぐに行ける改善提案	各支部の連携を密にして推進します。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	新たに青少年育成活動への参加促進を支援する事業として、命の教育「赤ちゃん抱っこ体験学習」について協議し、来年度より実施することとした。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	関係機関と連携して、見守り運動のネットワークづくりや、「心の教育」「命の教育」の促進や「青少年は地域社会が育む」という機運の醸成に努める。

【担当者評価】	有効性	<p>【事業の成果】事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）</p> <p>【サービス内容の見直し】成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？</p> <p>【他事業との統合】類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？</p>	<p>A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない</p> <p>A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき</p> <p>A. できない B. 検討の余地あり C. できる</p>	A	B	C
	妥当性	<p>【市民のニーズ】社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？</p> <p>【市が実施する妥当性】市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）</p> <p>【受益の公平性】特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？</p>	<p>A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている</p> <p>A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない</p> <p>A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている</p>	A	B	A
	効率性	<p>【事務の効率化】事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？</p> <p>【民間活力の導入】事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？</p> <p>【歳入増加策】受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？</p>	<p>A. できない B. 検討の余地あり C. できる</p> <p>A. できない B. 検討の余地あり C. できる</p> <p>A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき</p>	B	C	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	2,126 千円	2,126 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,126 千円	2,126 千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	人件費	正職員	0.35 人	2,460 千円	0.50 人	3,555 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.15 人	379 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.50 人	2,839 千円	0.50 人	3,554 千円	人	千円	人	千円
			総事業費		4,965 千円		5,680 千円		千円		千円
			特定財源	国県支出金		千円		千円		千円	
使用料・手数料					千円		千円		千円		千円
分担金・負担金		千円			千円		千円		千円		
地方債		千円			千円		千円		千円		
その他		千円			千円		千円		千円		
一般財源		4,965 千円		5,680 千円		千円		千円			
財源合計		4,965 千円		5,680 千円		千円		千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	地道な活動であり継続していくことが必要です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状どおり実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状を維持して実施していきます。			
すぐに行ける改善提案	各支部の連携を図り推進していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	賛助会員数	件	目標値	276	達成率	276	達成率	276	達成率	276	達成率
			実績値	147	53.26	252	91.3	177	64.13	205	74.28
成果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
活動	支部事業数	件	目標値	115	達成率	115	達成率	115	達成率	115	達成率
			実績値	107	93.04	113	98.26	118	102.61	125	108.7
活動	青少年健全育成推進大会来場者数	人	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
			実績値	153	76.5	235	117.5	184	92	158	79
活動	心の教育講演会来場者数	人	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
			実績値	83	41.5	79	39.5	108	54	81	40.5
活動	会長表彰被表彰者・被表彰団体数	件	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
			実績値	9	90	8	80	8	80	6	60

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事業コード	10050500121
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	福澤 斗夢
事業対象	市内の小学生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	坂井市放課後子ども教室実行委員会
根拠法令	無				
根拠例規	有	放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱 他			
関連計画・マニュアル	有	坂井市放課後子どもプラン・坂井市次世代育成支援行動計画			
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	放課後や週末等に安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域の交流活動等の機械を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。				
	坂井市放課後子ども教室実行委員会に業務を委託し、主に公民館において学習補助、文化芸術体験、世代間交流など地域のボランティアの協力を得ながら、地域に応じた教室を実施する。 (補助率) 国 1/3 県 1/3 ※補助限度額あり 放課後子ども教室実行委員会委託料 3,915千円				

すぐにできる改善提案	適正なメニュー作りに取り組みます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	放課後子ども教室推進事業の一環で、新たに地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等の構築事業に取り組んだ。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	児童クラブと連携した事業展開を検討する。		

【担当評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	3,915 千円	3,302 千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円					
	事業費合計	3,915 千円	3,302 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.30 人	2,108 千円	0.30 人	2,133 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.12 人	303 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.42 人	2,411 千円	0.30 人	2,133 千円	人	千円	人	千円
総事業費	6,326 千円	5,435 千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	2,610 千円	2,028 千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	千円	千円	千円					
	一般財源	3,716 千円	3,407 千円	千円	千円					
財源合計	6,326 千円	5,435 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域で見守る事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持して実施していきます。			
すぐにできる改善提案	適正なメニュー作りに取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】	成果	事業実施教室数	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
					目標値	25	達成率	25	達成率	26	達成率	26	達成率
	実績値	25	100	25	100	25	96.15	23	88.46				
	活動	子どもの参加者数	人	年度	目標値	17500	達成率	17500	達成率	19500	達成率	19500	達成率
					実績値	13751	78.58	14180	81.03	14552	74.63	17324	88.84
	活動	実施回数	回	年度	目標値	1250	達成率	1250	達成率	1300	達成率	1300	達成率
					実績値	1071	85.68	1233	98.64	1132	87.08	1337	102.85
					目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
					実績値								
					目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値									
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
				実績値									

事務事業名	合宿通学事業			事業コード	10050500126
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業対象	坂井市内小学生4～6年生				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	坂井市合宿通学事業実行委員会がすべて運営
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市合宿通学事業実施要項			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	<p>家庭を離れ、合宿生活を体験することで、日常生活における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てることを目的としています。また、地域の方々の協力を得て行うことにより、子どもと地域の結びつきの強化を図ることも期待できます。</p>				
	<p>社会教育委員からなる坂井市合宿通学事業実行委員会に事業実施を委託しています。</p> <p>【実施内容】 公民館での共同宿泊体験、調理、洗濯、食事の準備・後始末 【対象校・学年】 雄島小6年、平草小4年、大石小4年、木部小4年 【実施期間】 雄島小が3泊4日、その他3校は2泊3日 【募集人数】 原則として各校40名の定員にしております。 （宿泊公民館の立地条件や参加希望者数等から総合的に判断して決定） ※H26合宿通学事業委託料予算額：1,524,000円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	地域のボランティアを取り込んで実施します。		
目標年度	平成26	年度	
取組状況	地域のボランティアの協力のもと実施しました。まちづくり協議会等にイベント疲れ、ボランティア疲れが見受けられる場合は、無理はせず、実行委員会でコンパクトに実施した。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度	平成27	年度	
取組状況	教育振興基本計画に基づき取り組みました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,342	千円	1,316	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,342	千円	1,316	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.84	人	5,904	千円	1.13	人	8,033	千円
		臨時職員	0.02	人	51	千円	0.05	人	103	千円
		人件費合計	0.86	人	5,954	千円	1.18	人	8,136	千円
総事業費	7,296	千円	9,452	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	7,296	千円	9,452	千円	千円	千円	千円		
財源合計	7,296	千円	9,452	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	小学生の健全育成事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	地域のボランティアを取り込んで実施していきます。			
目標年度	平成27	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度	平成27	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
参加者の満足度		%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	94.3	94.3	95.4	95.4	94.0	94	93.2	93.2
参加者数 (目標値は参加校の対象児童数合計)		人	目標値	150	達成率	250	達成率	250	達成率	250	達成率
			実績値	146	97.33	160	64	157	62.8	251	100.4
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	坂井・延岡ジュニア交流事業			事業コード	10050500131		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	辻 佐和子		
事業対象	市民（小学5・6年生）						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	国際交流・地域交流の推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容	無	
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校5・6年生児童を対象に両市の名勝旧跡の見学や体験学習を通して人的交流を図る。						
	延岡市の小学生を坂井市に招聘し、両市の小学生と一緒に坂井市を体験します。（一年おきにお互いを訪問し合います。）						
【事業の目的・事業の概要等】	参加者 坂井市内の児童（5・6年生） 20人 坂井市PTA連合会 2人 事務局 3人						
	○報償費（記念品） 25千円 ○需用費（活動用消耗品費） 214千円 ○役務費（郵便料） 15千円 ○委託料（事業運営委託料） 442千円						

すぐに行ける改善提案	市PTA連合会と連携して取り組みます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	市PTA連合会と協力して実施したことで、連携して行う基盤が出来てきています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	児童同士の交流を深化することができました。昨年交流に参加した坂井市の児童が、友達になった延岡市の児童に会いに来てくれたり、交流期間以降も手紙をやり取りしたりと、交流が確実に続いていると感じています。		

【担当者評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	1,036千円	千円	千円			
			需用費	215千円	29千円	千円	千円			
			役務費	16千円	2千円	千円	千円			
			その他	469千円	24千円	千円	千円			
	事業費合計	700千円	1,091千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.66人	4,638千円	0.57人	4,052千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.66人	4,638千円	0.57人	4,052千円	人	千円	人	千円
総事業費	5,338千円	5,143千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	500千円	千円	千円					
	一般財源	5,338千円	4,643千円	千円	千円					
財源合計	5,338千円	5,143千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	有意義な交流事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐに行ける改善提案	市PTA連合会と連携して取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】	成果	参加者満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100
				実績値	100	100	100	100	100	100	100
	活動	参加者の事前研修の回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2
				実績値	1	50	2	100	1	50	2
					目標値		達成率		達成率		達成率
					実績値						
					目標値		達成率		達成率		達成率
					実績値						
					目標値		達成率		達成率		達成率
					実績値						

事務事業名	心の家庭教育支援事業			事業コード	10050505101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	門馬 聡子
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

地域や学校との連携を強化し、子育て中の保護者や子供たちへのより良い支援体制を作り、市全体への支援の拡充を図ります。

元教員、元保育士、子育て経験者である家庭教育支援チーム員による、相談会、広報誌の発行、子育て講座や子育て懇談会を開催する。

【平成26年度の対象校区】 前年度の対象校など継続を希望する学校も訪問
 三国地区：三国南、三国北、三国西小学校
 丸岡地区：高棕、長畝、平章、明章、鳴鹿小学校
 春江地区：春江、春江東、春江西、大石小学校
 丸岡地区：兵庫、大関、木部小学校

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	支援チームの人材を確保しながら取り組みます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	支援チームの人材確保に努める。		
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	家庭教育講座を、小学校の就学時検診時だけでなく、学校で機会をとらえていただくことで、より充実した学習機会を提供する。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年健全育成費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	46 千円	56 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,034 千円	1,244 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	1,080 千円	1,300 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.27 人	1,898 千円	0.38 人	2,701 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.27 人	1,898 千円	0.38 人	2,701 千円	人	千円	人	千円
総事業費	2,978 千円	4,001 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源	2,978 千円	4,001 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	2,978 千円	4,001 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	家庭教育を支援する事業として継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	支援チームの人材を確保しながら取り組んでいきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
成果	広報紙の発行回数	目標値	4	達成率	4	達成率	6	達成率	6	達成率
		実績値	4	100	4	100	4	66.67	4	
活動	子育て講座の開催数	目標値	19	達成率	19	達成率	19	達成率	19	達成率
		実績値	11	57.89	6	31.58	9	47.37	7	
活動	年間の子ども相談室の開催数（一地区あたり平均値）	目標値	48	達成率	48	達成率	36	達成率	36	達成率
		実績値	50	104.17	59	122.92	59	163.89	52	
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	愛護センター事業			事業コード	10050600101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3162	記入者名	岡 弘和		
事業対象	市内の青少年						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	坂井市青少年愛護センター条例					
根拠例規	有	坂井市青少年愛護センター条例施行規則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	青少年の実態を把握し、非行防止と健全な育成を促進する。						
	【非行防止】 補導員による巡回・声かけによる早期発見 【浄化活動】 有害図書に関する調査・指導、白いポストの回収廃棄 【相談業務】 児童・生徒や保護者及び教師の相談業務 【健全育成】 懇談会、研修会の開催や地域との合同パトロール、啓発活動の実施 【安全対策】 青色回転灯装着車による巡回による見守り活動						

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年愛護センター費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	315	千円	307	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	701	千円	652	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	106	千円	64	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	1,173	千円	1,170	千円	千円	千円	千円	千円
	事業費合計	2,295	千円	2,193	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.20	人	1,406	千円	0.25	人	1,777	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.20	人	1,406	千円	0.25	人	1,777	千円
総事業費	3,701	千円	3,970	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	391	千円	396	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	一般財源	3,310	千円	3,574	千円	千円	千円	千円		
財源合計	3,701	千円	3,970	千円	千円	千円	千円	千円		

	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	一般補導員延べ出務回数	回	目標値	750	達成率	750	達成率	
			実績値	704	93.87	664	88.53	689
成果	少年等相談件数	件	目標値	200	達成率	200	達成率	
			実績値	84	42	268	134	289
活動	一般補導員延べ出務人数	人	目標値	1500	達成率	1500	達成率	
			実績値	1407	93.8	1357	90.47	1385
活動	白いポスト回収点数	点	目標値	1000	達成率	1000	達成率	
			実績値	799	79.9	992	99.2	1263
活動	会議・研修会開催数	回	目標値	7	達成率	7	達成率	
			実績値	13	185.71	7	100	10
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

すぐできる改善提案	まちづくり協議会や青少年健全育成市民会議など地域団体と連携を図りながら、積極的な青少年の健全育成を推進していく必要があると考えます。また、一般補導員による4地区連絡会を開催することにより、補導員同士が情報を共有することができ、補導活動に幅がで、活性化が図られると考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	4地区一般補導員による連絡協議会を設立し、各地区代表者による連絡会を開催する。
中長期的に取り組むべき改善提案	P T A選出の補導員への継続周知や各種団体との連携を図ることで、一般補導員が確保され、補導活動の充実が図られると考えています。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	継続的に実施していきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	青少年を取り巻く環境に考慮し継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組んでいきます。			
すぐできる改善提案	各まちづくり協議会とも連携を図ります。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業			事業コード	10060105101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	杉田 和也		
事業対象	坂井市民・スポーツ推進委員						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	スポーツ振興法					
根拠例規	有	坂井市スポーツ推進委員に関する規則					
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画					
事業の概要	スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力などを行い、市のスポーツ振興を図る。						
	<p>【部会内容】 スポーツ推進委員 46名 総務部会：委員の広報活動、総合型地域スポーツクラブの育成及び推進 事業部会：各種スポーツ行事、大会企画、運営及び指導 研修部会：市民、体育指導委員の資質向上に寄与する研修・講習会の企画</p> <p>その他、団体や地域からの依頼により、ニュースポーツ・体力測定・マリン体操の派遣指導・協力を行う。</p> <p>○報酬（スポーツ推進委員報酬） 1,504千円 ○旅費 (北陸地区スポーツ推進委員研修会) 68千円 ○需用費（啓発） 676千円 ○役務費（傷害保険料） 87千円 ○負担金（県協議会負担金、研修参加負担金他） 111千円</p>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	市民ニーズを踏まえた事業の内容や市民への周知について熟慮し、より良い事業の企画・実施をしていきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	市民を対象に、運動習慣づくりのための「スポレッシュ教室」（ニュースポーツ教室）を定期的に開催するほか、健康増進のためのウォークラリー大会やウォーキング大会を開催しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民のスポーツの振興・普及について「坂井市スポーツ振興基本計画」に基づき、事業を展開していきます。また、市体育協会との連携により、より有効な事業ができないうかが検討を行います。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	市民を対象に、運動習慣づくりのための「スポレッシュ教室」（ニュースポーツ教室）を定期的に開催するほか、健康増進のためのウォークラリー大会やウォーキング大会を開催しています。市体育協会と連携し、マラソン大会や市民スポーツ祭の企画立案に参画しています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	1,472千円		1,504千円		千円	千円		
		委託費	千円		千円		千円	千円		
		需用費	676千円		32千円		千円	千円		
		役務費	84千円		87千円		千円	千円		
		その他	307千円		328千円		千円	千円		
	事業費合計	2,539千円		1,951千円		千円	千円			
	人件費	正職員	0.41人	2,881千円	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.41人	2,881千円	0.49人	3,483千円	人	千円	人	千円
総事業費	5,420千円		5,434千円		千円	千円		千円		
事業費	特定財源	千円		千円		千円	千円			
	国県支出金	千円		千円		千円	千円			
	使用料・手数料	千円		千円		千円	千円			
	分担金・負担金	千円		千円		千円	千円			
	地方債	千円		千円		千円	千円			
	その他	千円		千円		千円	千円			
一般財源	5,420千円		5,434千円		千円	千円				
財源合計	5,420千円		5,434千円		千円	千円		千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市民の健康増進に向けてニュースポーツの普及に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持して事業を実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状を維持して事業を実施していきます。			
すぐにできる改善提案	市民ニーズを踏まえ参加しやすいスポーツを推進していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成27 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	スポーツ推進委員派遣指導依頼回数	回	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	21	達成率
			実績値	32	128	23	92	28	112	28	133.33
活動	研修回数	回	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率	6	達成率
			実績値	9	150	8	133.33	4	66.67	6	100
活動	会議回数	回	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	25	達成率
			実績値	26	104	26	104	29	116	41	164
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	保健体育事務事業			事業コード	10060110101		
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	中田誠一郎		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。						
	スポーツ振興審議会事業： スポーツ推進に関する重要事項について調査審議し、市教育委員会に建議する目的により設置されます。 各種協議会等負担金助成事業： 各種協議会等に対し、負担金助成を行っている。						

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	陸上競技場2種継続への検定に向けて指定管理者である公益財団法人坂井市体育協会と連携して計画的な準備を進めます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	陸上競技場2種継続に向けて、日本陸連による事前調査を実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、事業を推進していきます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	スポーツ振興審議会について、今後のあり方を検討する。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	25 千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	12 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	116 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	8 千円	15 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	8 千円	168 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.10 人	703 千円	0.17 人	1,209 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10 人	703 千円	0.17 人	1,209 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		711 千円	1,377 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		711 千円	1,377 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	711 千円	1,377 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断理由	継続して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	坂井市体育協会と連携して取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

成果	陸上競技場2種継続検定の可否	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
活動	各種協議会負担金助成額	円	目標値	9000	達成率	9000	達成率
			実績値	8000	88.89	9000	100
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率

【事業の成果】

事務事業名	国体推進事業 本庁（生涯学習スポーツ課）		事業コード	10060115101	
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	宮永 英之
事業対象					
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	スポーツ振興法、国民体育大会開催基準要項			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	平成30年に開催予定の第73回国民体育大会に向けた準備を行う。 丸岡スポーツランドサッカー場の改修及びサッカー場施設の改修計画書を作成する。				
	国民体育大会に使用する施設の改修工事を実施する。 ・丸岡スポーツランドサッカー場改修工事 国体開催のサッカー会場に使用するため、サッカー場を国民体育大会施設基準に適合した改修工事を行う。 ・丸岡スポーツランドサッカー場施設改修工事設計業務 丸岡スポーツランドサッカー場施設を国民体育大会で活用できる施設に改修する設計業務を行う。				
事業の目的・事業の概要等	○委託料 4,601千円 ○工事請負費 78,141千円 ○備品購入費 4,003千円				

すぐに行ける改善提案	国体開催に向け、サッカー、バレーボール競技会場の施設整備を実施する。	
目標年度 平成30 年度		
取組状況	国体の会場となる丸岡スポーツランドサッカー場の天然芝改修工事を実施した。	
中長期的に取り組むべき改善提案	国体開催に向けて事業を推進するとともに、国体終了後の市民のスポーツの浸透、普及、体力・健康づくりなど、スポーツの習慣化・定着につながるような施設整備を行う。	
目標年度 平成30 年度		
取組状況	国体後も有効的に施設を活用できるよう、丸岡スポーツランドサッカー場施設改修工事の設計業務を実施した。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	4,601	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	82,144	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	86,745	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.78	人	5,482	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.78	人	5,482	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	92,227	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	37,901	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	36,000	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		18,326	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	92,227	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	国体開催に向け施設整備を実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	国体会場となる施設の耐震補強を中心に整備していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で取り組みます。			
すぐに行ける改善提案	国体推進課と連携して取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	国体開催に向けて取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	施設	目標値	1	達成率	2	達成率
		実績値	1	100	2	100
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ大会運営事業			事業コード	10060200101
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	杉田 和也
事業対象	大会参加者・大会実施団体				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	大会運営事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有 坂井市スポーツ振興基本計画				
事業の概要	誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。				
	<p>【生涯スポーツの推進】 市民の生涯にわたるスポーツライフの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリー ・ニュースポーツ教室 ・坂井市古城マラソン ・坂井市民スポーツ祭 <p>○需用費（大会消耗品費、食糧費） 119千円 ○役務費（傷害保険料） 32千円 ○委託料 4,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂井市古城マラソン 2,500千円 ・坂井市民スポーツ祭 2,300千円 <p>【市内で開催されるスポーツ大会の振興】 市内外のチームとの試合を通じ、技術・競技力の向上及び地域間の交流</p> <p>○補助金 905千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂井市古城カップサッカー大会補助金 700千円 ・坂井地区高等学校野球連盟事業補助金 100千円 ・古城グリーンロードレース大会事業費補助金105千円 				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	事業内容を精査、チェックしながら事業を進めていきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、事業を推進します。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	4,800千円	4,800千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	120千円	46千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	32千円	56千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	905千円	1,800千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	5,857千円	6,702千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.33人	2,319千円	0.41人	2,915千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.33人	2,319千円	0.41人	2,915千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	8,176千円	9,617千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			37千円	59千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		8,139千円	9,558千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	8,176千円	9,617千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	より多くの人が大会に参加できるよう支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐに行える改善提案	坂井市体育協会、スポーツ推進委員と連携しながら取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数	目標値	4500	達成率 4500	達成率 4500	達成率 4500		
		実績値	2161	48.02	3010	66.89	3453	76.73
成果	坂井市古城マラソン申込者数	目標値	4000	達成率 4000	達成率 4000	達成率 3000		
		実績値	3631	90.78	3809	95.22	3841	128.03
活動	スポーツ推進委員会主管大会参加者数	目標値	200	達成率 200	達成率 200	達成率 200		
		実績値	88	44	67	33.5	34	17
活動	坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数	目標値	25	達成率 25	達成率 25	達成率 20		
		実績値	21	84	25	100	24	120
活動	坂井市古城カップサッカー大会参加チーム数	目標値	60	達成率 60	達成率 60	達成率 100		
		実績値	25	41.67	40	66.67	40	40
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	スポーツ振興事業			事業コード	10060200106
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	杉田 和也
事業対象	坂井市内在住の全国以上の大会出場者 学生については坂井市出身で坂井市に保護者が在住する出場者。坂井市体育協会、坂井市スポーツ少年団				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市全国スポーツ大会出場激励金支給要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体の活動に対して補助を行う。

【激励事業】
予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督について、激励金を支給する。
国民体育大会 10,000円/人
全国大会 一般 8,000円/人、高校生以下 5,000円/人
アジア大会 規模に応じ 30,000円以内/人
国際大会 規模に応じ 50,000円以内/人
高校野球・高校サッカー大会への参加校 1チーム500,000円

○報償費（激励金） 2,699千円
○需用費（消耗品費） 5千円

【団体補助事業】
各団体の年間活動に対して、補助金を支給する。

市体育協会運営補助金：
坂井市市民の体育及びスポーツの振興を図るとともに、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を目的とする。また加盟30団体の競技種目の普及、発展及び競技力の向上を目的とする。
○補助金 22,963千円

市スポーツ少年団運営補助金：
各種スポーツ活動をはじめとし、野外・学習・奉仕活動や体力テストなどを通じて基礎体力を養うとともに健全な青少年の育成を目的とする。
○補助金 4,000千円

スポーツ振興事業費補助金：
坂井フェニックスサッカークラブの活動事業に対して支援し、市のトップチームとしてのチームづくりを図り、サッカーを通じて本市におけるスポーツの振興と青少年の健全育成に貢献することを目的とする。
○補助金 1,000千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育振興費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	5千円	5千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	35,485千円	30,662千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	35,490千円	30,667千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00人	千円	0.57人	4,052千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	0.57人	4,052千円	人	千円	人	千円
		総事業費	35,490千円	34,719千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	4千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	35,486千円	34,719千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	35,490千円	34,719千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	人	激励金支出人数	目標値 345 達成率	344 達成率	343 達成率	342 達成率
		実績値	304 88.12	355 103.2	325 94.75	326 95.32
成果	事業	体育協会加盟団体開催事業数	目標値 105 達成率	105 達成率	105 達成率	105 達成率
		実績値	120 114.29	116 110.48	119 113.33	114 108.57
活動	人	国際大会出場者数	目標値 10 達成率	10 達成率	10 達成率	10 達成率
		実績値	9 90	6 60	7 70	7 70
活動	人	国民体育大会出場者数	目標値 30 達成率	30 達成率	30 達成率	30 達成率
		実績値	37 123.33	24 80	30 100	35 116.67
活動	人	スポーツ少年団加入員数	目標値 2000 達成率	2000 達成率	2000 達成率	2000 達成率
		実績値	1399 69.95	1475 73.75	1495 74.75	1533 76.65
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

すぐにできる改善提案	生涯スポーツの振興を図るとともに、更なる競技力向上に努めていきます。
目標年度 平成27年度	
取組状況	平成30年の福井国体を見据え、体育協会や各種目協会と連携・協力し、生涯スポーツの振興、更なる競技力向上に努めている。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画を踏まえ、事業を精査・チェックしながら事業を進めていきます。
目標年度 平成27年度	
取組状況	体育協会やスポーツ推進委員会と連携・協力し、生涯スポーツの振興に努める。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市民のスポーツ振興のためこのまま継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状維持で実施していきます。			
すぐにできる改善提案	生涯スポーツの振興を図ります。			
目標年度 平成28年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28年度				

【事業の成果】

事務事業名	体育施設管理事業		事業コード	10060300101	
所管部署	生涯学習スポーツ課	電話	50-3163	記入者名	宮永 英之
事業対象	社会体育施設及び学校体育施設の開放				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	スポーツ・レクリエーションの振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	学校体育施設の管理運営
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市学校体育施設の開放に関する条例及び同施行規則、三国運動公園野球場広告掲載実施要領				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

スポーツ環境の整備充実を図るため、坂井市の総合計画と整合させながら、既存の体育施設が安全かつ安心して利用できるよう、施設の管理を図ります。

【学校体育施設開放事業】
小・中学校の体育施設を、学校行事に支障をきたさない範囲で開放し、市民の健康増進やスポーツの振興を図ります。また、利用者の利便性を考慮し、公益財団法人坂井市体育協会に事業を委託します。

【三国運動公園野球場有料広告事業】
三国運動公園野球場のグラウンドフェンスに有料広告を募集し掲載します。広告料は、市内体育施設の改修費用に充てます。

事業の目的・事業の概要等

- ◆体育施設維持管理事業 79,188千円
- 旅費（B&G各種会議旅費） 62千円
- 使用料及び賃借料（土地借上料） 29,958千円
- 需用費（施設等修繕料） 392千円
- 工事請負費（体育施設整備工事費） 26,524千円
- 備品購入費（体育施設用AED・三国運動公園陸上競技場備品・ディスクゴルフボール） 9,773千円
- 役務費（火災保険料・印紙代） 385千円
- 委託料（学校体育施設開放事業委託料・耐震診断等業務委託料） 8,957千円
- 負担金（B&G地域海洋センター負担金・指定管理者修繕料負担金） 2,918千円
- 補償金（ナイター周辺水田補償金） 219千円

予算	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円		千円		千円		千円	
		委託費	8,957千円		6,581千円		千円		千円	
		需用費	392千円		432千円		千円		千円	
		役務費	384千円		375千円		千円		千円	
		その他	71,542千円		63,478千円		千円		千円	
	事業費合計	81,275千円		70,866千円		千円		千円		
	人件費	正職員	0.64人	4,498千円	0.56人	3,981千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.64人	4,498千円	0.56人	3,981千円	人	千円	人	千円
総事業費		85,773千円		74,847千円		千円		千円		
事業費	特定財源	国県支出金		1,217千円		千円		千円		
		使用料・手数料		1,444千円		千円		千円		
		分担金・負担金		千円		千円		千円		
		地方債		千円		千円		千円		
		その他		3,498千円		600千円		千円		
	一般財源	79,614千円		74,247千円		千円		千円		
財源合計	85,773千円		74,847千円		千円		千円			

成果	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
学校体育施設利用者数	人	目標値	80,000	達成率 80,000	達成率 80,000	達成率 80,000	達成率 80,000
		実績値	82,550	103.19	72,899	91.12	70,197
学校体育施設開放対象校数	校	目標値	24	達成率 25	達成率 25	達成率 25	達成率 25
		実績値	24	100	25	100	25
広告料収入	千円	目標値	1,102	達成率 2,400	達成率 2,400	達成率 2,400	達成率 2,400
		実績値	1,098	99.64	2,213	92.21	2,400
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					

すぐにできる改善提案	施設の老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して修繕業務を行います。また、国体の開催に向けての施設整備を進めます。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	指定管理者と協議し、安全性を優先に修繕業務を実施した。		
中長期的に取り組むべき改善提案	老朽化した施設が多く、修繕費がかさんでいるため施設の統廃合を検討していきます。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	計画的な施設修繕に取り組む。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市民のスポーツ振興のためこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状どおり実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。			
すぐにできる改善提案	施設の老朽化に対し計画的に指定管理者と連携して取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき取り組みます。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】